

ぶうげんびりあ9月 No.1

2018年 9月号 No.231 <http://www2.synapse.ne.jp/ainohamaen>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54-8011 FAX:54-8012

クーラーの効いた部屋が快適すぎて、外に出たくないと思ってしまうくらい、今年の夏は今までになく暑いと感じます。ニュースでも「〇〇県で最高気温〇〇℃」とか「熱中症で〇人、病院へ搬送」など、耳にする事が多く、今年の夏の最高気温ランキングを検索してみました。最高気温が埼玉県熊谷(くまがや)市で41.1度でしたが、不思議な事に最下位が沖縄県慶良間諸島(けらましょとう)で28.5度と南の島の方が低い温度でした。今年は台風の発生も多いようで、愛の浜園の行事を狙ってきているかのように、楽しみにしていた毎年恒例の納涼大会も中止になりました。そのような中、毎月1回、危険な場所がないか、職員数名で園内を回り、安全点検をしていますが、今年は例年よりも蜂の巣が多く、足長バチやスズメバチをたくさん退治しました。こういう年は台風も多いと昔から言われているようです。今年の運動会の日には台風がきませんように・・・祈るばかりです。(副主任:福山)

9月行事予定表

- 2日(日):豊年相撲見学(知名瀬)
- 3日(月):体重測定・血圧測定
- 13日(木):愛の浜園 敬老会
- 19日(水):健康相談
- 30日(日):知根小学校運動会参加(大玉転がし)



お誕生日



浜手 輝代さん 境 秀行さん 塩崎 幸子さん 橋田 忠治さん 田畑 栄さん 高 由香さん

おめでとう

お盆帰省

奄美のほとんどの地域は、旧暦でのお盆を迎え、ご先祖様との時間を過ごします。今年は、8月23日(木)~25日(土)が旧盆にあたり、帰省された利用者さんもいらっしゃいました。園 初代さんは、この4月より生活介護から就労継続支援B型へサービス移行し、「紙バンドでのカゴ作り」のお仕事をされています。今回、お仕事に就いてから初めての帰省という事で、でき上がったカゴを妹さんにプレゼントしました。青と白のコントラストが綺麗だと大変喜んで頂き、少々照れくさそうなお姉さん(初代さん)の姿を見ることができました。こちらとしてもその瞬間に立ち会い、嬉しい気持ちになりました。お盆をご家族と過ごし、リフレッシュされた初代さん、帰園後も変わらず楽しみながらお仕事に取り組まれています。利用者さんのこのような姿は、仕事を持つ事への嬉しさや楽しさを改めて感じさせてくれ、私たちの大きな支えとなっています。(記事:屋園)



新自治会役員紹介

自治会の役員になりました。みんなのために頑張りたい。だから、役員・職員・利用者と話をして、愛の浜園がもっと楽しくなるように、みんなで一緒に頑張ります。(自治会役員一同)
※ 愛の浜園では利用者で自治会を作っています。利用者から2年に1度、役員を選出し全利用者の代表として、より快適で楽しく生活出来るよう意見を出し合い活動する会です。



- 会長 島本 誠(しまもと まこと)さん
- 副会長 酒井 真希(さかい まき)さん
- 役員 野畑 則和(のばた のりかず)さん
- 徳 朋裕(とく ともひろ)さん
- 竹田 美喜子(たけだ みきこ)さん

奄美まつり 花火大会見学

さあ、今年もやってまいりました、花火大会。夕食を食べ終えて、それぞれ涼しげな洋服に着替えて、本館前に早々に整列して、準備万端。バスに乗り込んで、利用者さんも引率の職員もドキドキ、わくわく!会場に着くと、ブルーシートに座る方、椅子に座って見やすい位置を確保する方、一番前を確保する方等、それぞれ、花火が打ち上げられるのを楽しみにして待っていました。江戸時代の花火は、現在みたいな、色付きではなく、真っ白な花火だったと言われています。夏の行事一番の主役の打ち上げ花火が20時ジャストに始まりました。花火が一つ打ち上がる度に、利用者さん達・職員から「わー。」「綺麗。」の、声が上がります。また、変わった花火が連発して上がると、「わー、わー、わー、すごーい。」と、身体が後ろにのけ反る職員もいて、大いに盛り上がった、花火大会でした。利用者さん・引率の職員たちの笑顔が見れた花火大会になって良かったと思いました。また、来年も綺麗な花火、変わった花火が打ち上げられたらいいですね。(記事:久留)



買い物支援の楽しみは...



愛の浜園では、月に1回程度の外出支援を行っています。担当職員と一緒に、買い物や外食などをし、利用者さんにとっては楽しみの1つとなっています。「今日はCDが買いたいな~」や「今日はハンバーグが食べたい」等、好きなものを買ったり食べたりします。最近では買い物の際、セルフレジになり「え?!5番レジをお願いします?どこどこ~?」レジで右往左往。(笑)私も初めはビックリでした。利用者さんも戸惑いますよね?職員と一緒にレジでのお会計の練習なども行う方もいます。楽しみながらも、小さな事を一つ一つ学んでいきます。(今度は一緒にどこに行こうかな~)利用者さんが喜んでくれる事を考えると楽しくなります。(記事:森山)

納涼大会のご協力ありがとうございました。

8月11日は、愛の浜園の納涼大会の開催予定日でしたが、台風接近の為、納涼大会は中止になりました。納涼大会は利用者さん達が一番楽しみにしていたので、園長をはじめ全職員が、なんとか開催できないものか直前まで考慮したのですが、台風の進路状況からして開催するのは困難でした。利用者さん、ご家族の皆さんも楽しみにしていた納涼大会を中止にするのは断腸の思いだったのではないのでしょうか。また、常日頃からお世話になっております知名瀬町内会、根瀬部町内会、エコキッチンきらり様、直前まで屋台の準備を有難うございました。景品を寄付して下さいました業者様、本当に有難うございます。頂いた景品は、来年の景品に使わせて頂きたいと思っております。多くの皆様のご協力、ご支援に感謝し、来年は盛大な納涼大会を開催できるよう心より願っています。(記事:丸田)

愛の浜園に咲く星の名は...



暑かった夏の日差しも、少しずつ秋めいてきました。夏の終わりは、何かやり残しているような、宿題が残っているような気持ちになるのは、遠い日の夏休みの記憶のせいでしょうか。秋は行事も多く、利用者はもちろん、支援員もモニタリング・支援計画作成と忙しい日々が続きます。ちょっと一息、写真をヒントに園のどこかに咲いているサクラランを探してみませんか。去年は、1個しか咲かなかったけど、今年は3個咲きました。(記事:福島)

梨花(りんか)ライン



「カリカリカリ」と、乾いた音を響かせて、器の表面に一本の線が刻まれていきます。その丁寧な作業は、「線を引く」というよりも、一本の絹糸を紡いでいるようにさえ思えるほどです。その主の名前は、榮 梨花(さかえ・りんか)さん。彼女が生み出す美しい線のことを誰とはなしに、いつしか「リンカライン」と呼ぶようになりました。その「リンカライン」をまとった器たちが、このほどデビューとなりましたので、皆様にお披露目いたします。(記事:榮野)

